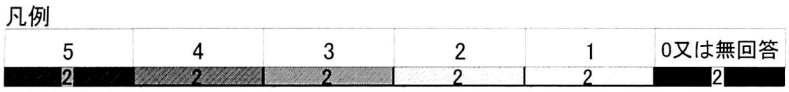
授業アンケート集計結果(経年比較用)

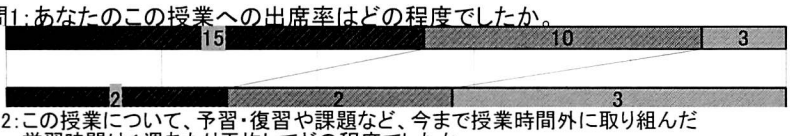
東京電機大学工学部・未来科学部授業アンケート

科目名	担当者	年度	学期	ｱﾝｹｰﾄｺｰﾄﾞ	回答数	履修数	出席率	平均値 問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問9	問10	問11	問12	問13	問14	問15
科学技術と現代社会 金1	田中 浩朗	2015	前期	201510558	7	13	全ﾃﾞｰﾀ	3.6	4.8	4.8	3.6	2.9	4.4	4.6	4.6	4.7	4.9	4.9	5	4.4	5
科学技術と現代社会 金1	田中 浩朗	2015	前期	201510558	7	13	7割出席	3.6	4.8	4.8	3.6	2.9	4.4	4.6	4.6	4.7	4.9	4.9	5	4.4	5
科学技術と現代社会 金2	田中 浩朗	2014	前期	201410589	28	38	全ﾃﾞｰﾀ	3.4	4.1	4.4	3.3	3.1	4.4	4.3	4.8	4.8	4.6	4.4	4.5	4.2	5
科学技術と現代社会 金2	田中 浩朗	2014	前期	201410589	28	38	7割出席	3.4	4.1	4.4	3.3	3.1	4.4	4.3	4.8	4.8	4.6	4.4	4.5	4.2	5

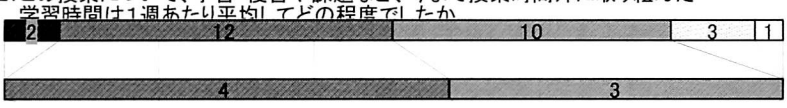
凡例



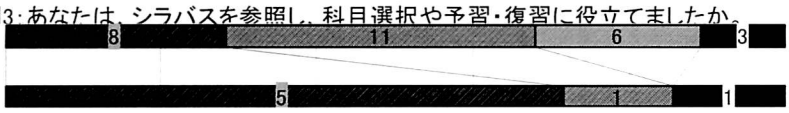
問1:あなたのこの授業への出席率はどの程度でしたか。



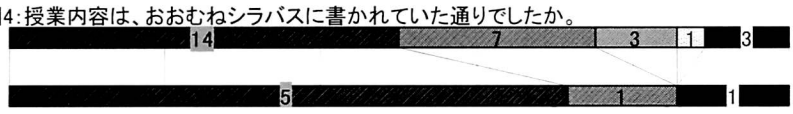
問2:この授業について、予習・復習や課題など、今まで授業時間外に取り組んだ学習時間は1週あたり平均してどの程度でしたか



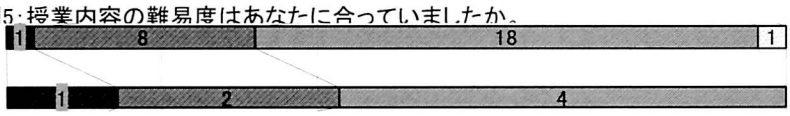
問3:あなたは、シラバスを参照し、科目選択や予習・復習に役立てましたか。



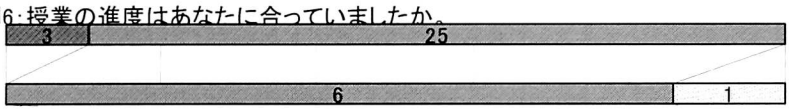
問4:授業内容は、おおむねシラバスに書かれていた通りでしたか。



問5:授業内容の難易度はあなたに合っていましたか。



問6:授業の進度はあなたに合っていましたか。

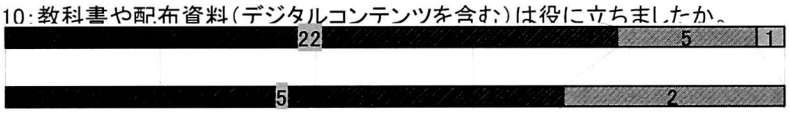


問7:話し方(声量やスピードなど)は聞き取りやすかったですか。

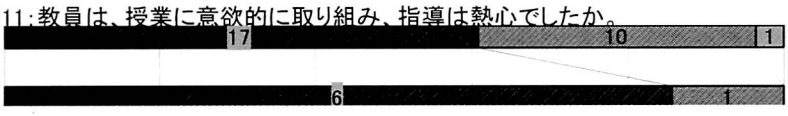
問8:専門知識や用語の説明は分かりやすかったですか。

問9:板書やスライド、視聴覚教材などは、授業の理解を助けるものでしたか。

問10:教科書や配布資料(デジタルコンテンツを含む)は役に立ちましたか。

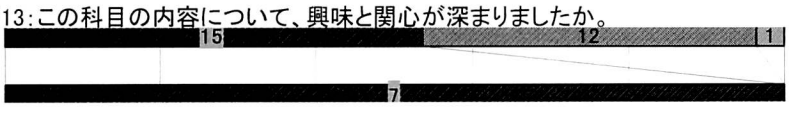


問11:教員は、授業に意欲的に取り組み、指導は熱心でしたか。

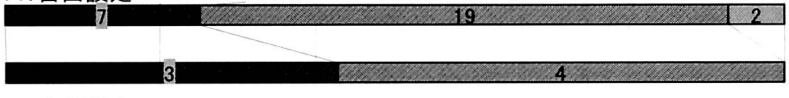


問12:教員は、教室の学びやすい雰囲気を作るように努めていましたか。

問13:この科目の内容について、興味と関心が深まりましたか。

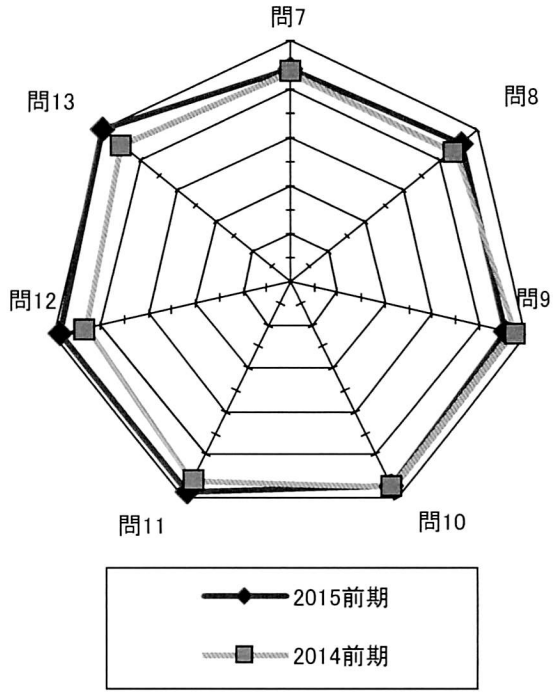


問14:自由設定



問15:自由設定

授業方法についての設問(問7～13)回答平均値



設問ごとの回答選択肢

問1: 5:100% 4:90%以上100%未満 3:70%以上90%未満
2:50%以上70%未満 1:50%未満

問2: 5:2時間以上 4:1時間以上2時間未満
3:30分以上1時間未満 2:30分未満 1:全くしなかった

問3: 5:易しすぎた 4:やや易しかった 3:ちょうどよかった
2:やや難しかった 1:難しかった 0、読んでいない

問4: 5:そう思う 4:ややそう思う 3:どちらともいえない
2:あまりそう思わない 1:全くそう思わない
0:読んでいない、もしくは覚えていない

問5: 5:難しかった 4:やや難しかった 3:ちょうどよかった
2:やや易しかった 1:易しすぎた

問6: 5速すぎた: 4:やや速かった 3:ちょうどよかった
2:やや遅かった 1:遅すぎた

問7: 5:そう思う 4:ややそう思う 3:どちらともいえない
2:あまりそう思わない 1:全くそう思わない

問8: 5:そう思う 4:ややそう思う 3:どちらともいえない
2:あまりそう思わない 1:全くそう思わない

問9: 5:そう思う 4:ややそう思う 3:どちらともいえない
2:あまりそう思わない 1:全くそう思わない

問10:5:そう思う 4:ややそう思う 3:どちらともいえない
2:あまりそう思わない 1:全くそう思わない

問11:5:そう思う 4:ややそう思う 3:どちらともいえない
2:あまりそう思わない 1:全くそう思わない

問12:5:そう思う 4:ややそう思う 3:どちらともいえない
2:あまりそう思わない 1:全くそう思わない

問13:5:そう思う 4:ややそう思う 3:どちらともいえない
2:あまりそう思わない 1:全くそう思わない

授業アンケートに対する所見票（平成 27 年度前期）

科目名：科学技術と現代社会
曜日・時限：金曜 1 限
担当者：田中浩朗

１．授業アンケートの集計結果について

授業の仕方に関する問 7 から問 12 までについては, 5 段階評価の平均値が 4.4～4.9 と比較的良い評価を得ており，大きな問題はないと考えられます。授業の難易度および進度についても,「ちょうど良かった」という 3 の回答が一番多く（それぞれ 57%, 86%），大きな問題はないと考えられます。総合的な評価と見なすことのできる興味関心の深まり（問 13），自由設定した問 14「あなたは，この授業によって，大学生らしい『主体的な学び』が実現できたと思いますか」，同じく自由設定した問 15「あなたは, この授業を履修して良かったと思いますか」については, それぞれ平均値が 5.0, 4.4, 5.0 であり，総合的に見ても比較的良い評価を得ています。

２．自由記述欄の回答について

良かった点としては,「読書会という形態が良かった」「授業形態がディスカッションという所」「普段と違う授業形式で新鮮さがありとてもよかった」「読書会という形で，他人の意見を聞くことができた」など，この授業を読書会形式で進めたことについて触れたものが多くありました。また，今回読書会で読んでいった本（高木仁三郎著『市民科学者として生きる』）についても,「今回の本は今の時代にあっており，良かったと感じた」「その作者の人生を知ることによってさまざまな考え方やこれからの自分の人生に役に立つと思うことができたので是非この授業は続けて欲しいと思った」など，肯定的な意見が多くありました。

改善した方が良い点や改善のための提案としては,「仮に一班の場合でも毎回，班のリーダーを決めておくとスムーズに話し合いが行える」「人数がもう少しほしい」「本の種類が多いともっと積極性が増す」「私自身，シラバスをあまり読まないので，授業名に読書会であることを取り込めば，もっと本が好きな人が履修するのではないかと思った」などの意見・提案がありました。

授業中に受講者のみなさんに意見を聞いたことですが,「講義と読書会を交互にやっていくのも関連事項を知ることができてとても良いと思います」という意見もありました。

３．今後の授業改善に向けて

今学期，初めて読書会をメインにした授業を実施しました。このクラスは受講者数が少なかったため，毎回同じメンバーで読書会をすることが多かったのですが，人数が増えれば，班のメンバーを毎回入れ替えてより多様な意見に触れる機会が実現できると思います。読書会であることを授業名に入れることは難しいですが，他の私の授業で宣伝するくらいはできると思います。今回の受講者のみなさんの意見を聞いて，受講者が増えることを願っています。

受講者が増えて，クラスに多くの班ができるようになれば，本の種類を増やすことも可能になると思います。出席者が少なくて一班しかできなくても，世話役を置いた方がいいと私も思いますので，今後はそうしたいと思います。

講義と読書会をどう組み合わせたらよいかについては，今後検討し，よい形を探っていきたいと思っています。